



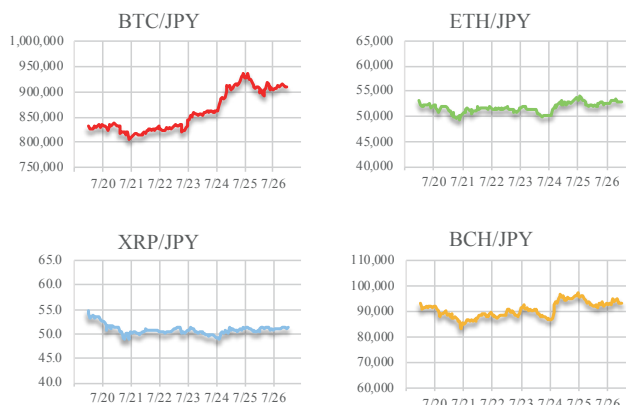
今週の相場動向

相場回顧 BTC ETF 承認への期待により続伸

BTC は仮想通貨 ETF 承認への期待から買いが強まり、前週に続いて価格を伸ばした。CME の BTC 先物の 1 日あたり平均取引高が 2018 年 2Q 前期比で 90% 以上増加したとの報道も相場を後押ししたと思われる。7/24 には、SEC が米国投資会社 Direxion の ETF 承認可否の決定を先送りにしたことで、失望売りから価格を下げたが、今回 SEC が否決ではなく延期という対応を取ったことで、市場では ETF 承認への期待が継続している。アルトコインから BTC に資金が流れ ETH, XRP, BCH が弱い動きとなる中、BTC は取引高が価格の上昇と共に増えドミナンスも高まっている。

今週のトピックス

- ・BTC 開発者ら、Bitcoin Optech を立ち上げ。(7/20)
- ・Samsung、バルト諸国の店舗で仮想通貨決済を受入。(7/20)
- ・ベトナム中央銀行、仮想通貨マイニング機器の輸入を一時停止。(7/21)
- ・G20、仮想通貨への FATF 規制を 10 月までに明確化。(7/23)
- ・Google、ブロックチェーン導入に向け DigitalAsset, BlockApps と提携。(7/23)
- ・仮想通貨交換業協会、取引レバレッジ 4 倍を上限とする方向へ。(7/24)
- ・米国資産管理会社 Bitwise、SEC に ETF 登録申請。(7/24)
- ・SEC、米国投資会社 Direxion の ETF 承認可否の決定を 9 月に延期。(7/24)
- ・Metamask、ChromeWebStore から一時的に削除される。(7/25)
- ・ジブラルタル証券取引所、仮想通貨取引所 GBX を設立。(7/26)



	BTC/JPY	ETH/JPY	XRP/JPY	BCH/JPY
20-Jul	833,625	51,764	51.23	88,923
21-Jul	818,022	51,372	50.67	87,463
22-Jul	831,023	51,731	50.92	89,298
23-Jul	853,859	51,227	50.47	90,488
24-Jul	903,015	52,379	51.47	94,171
25-Jul	907,280	52,155	50.62	92,207
26-Jul	911,068	52,965	51.24	93,207
前週対比	9.29%	▲0.27%	▲6.56%	0.12%

※終値を日本時間 0:00 とする

来週の相場予想

来週の相場予想

BTC は 94 - 88 万円のレンジ相場となるか。今週 SEC による米国投資会社の ETF 承認が 9 月に見送られたことで、市場では CBOE の ETF 承認もまた先送りになるのではないかとの見方が広がっている。失望売りや短期筋による利益確定売りにより一時的に価格を下げることは考えられるが、依然として仮想通貨 ETF 実現への期待は高く、引き続き一定の買いは入るとされる。SEC の内部情報が漏れているとの噂もあり、これにより期待が先行すれば上値として見られる BTC=94 万円をブレイクすることも起こりうる。下値としては BTC=\$8,000=88 万円付近が意識されるだろう。

来週のトピックス

- ・ALIS Meet-up が大阪で開催。(7/28)
- ・Qtum Developer Meet-up がモスクワで開催。(7/28)
- ・World Blockchain Roadshow Asia Part 2 が開幕。(7/28-8/5)
- ・World Blockchain Congress がバーレーンで開催。(7/29-30)
- ・TRON、Virtual Machine Testnet リリース予定。(7/30)
- ・0x、Protocol V2 リリース予定。(7/30)
- ・BCD、Lightning Network 実装予定。(7/31)
- ・OMG が仮想通貨取引所 Bitpanda に上場。(7/31)
- ・CARDANO、ロードマップアップデート。(8/2)
- ・IOTA Meet-up がニューヨークで開催。(8/2)

ICO スケジュール

Date	Project	Category	Pre/Crowd	Period	Hardcap
30-Jul	Phoneum	マイニング	Crowd	7/30 - 9/30	\$20,000,000
31-Jul	Bithemoth	取引プラットフォーム	Pre	7/31-9/1	€ 5,000,000
	Delicia	フードデリバリー	Crowd	7/31 - 8/31	\$33,000,000
1-Aug	Attrace	アフィリエイト	Pre	8/1 - 8/28	\$14,698,864
	IceBreakerAR	SNS	Crowd	8/1 - 8/13	\$17,900,000
7-Aug	idap.io	取引プラットフォーム	Crowd	8/7 - 10/15	750,000,000 IDAP

・本資料は情報提供を目的とし、弊社が信頼でき、正確であると判断した情報に基づき作成されていますが、弊社はその情報の正確性を保証するものではありません。

・記載された意見や憶測等は作成当時の筆者の一見解を示すものであり、記載された内容を投資等にご利用になる際には、ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。



規制動向

インド最高裁は先週、中央銀行による仮想通貨取引禁止令の最終審問を9月に延期すると発表した。インドでは、4月に中央銀行が民間銀行に対し仮想通貨取引の禁止措置を講じたが、これに対して現地の仮想通貨コミュニティは反発し、この問題は署名活動さらには訴訟にまで発展した。これまでも多くの事業者が影響を受け、7/23には国内取引所 Unocoin がルビーの出入金を一時停止した。今後どのような方向に進むかはわからないが、中央銀行がコモディティとしての仮想通貨規制を検討との報道もあり、全面禁止という結果にはならないと予想している。しかし、インドは市場としても大きく、仮に最高裁の判決により禁止措置継続となれば価格への影響も大きいだろう。

技術動向

BitcoinCashのクライアント開発体の一つである BitcoinUnlimited が、Scaling Bitcoinでも議論されていた graphene 技術導入のコードをマージした。BitcoinのSPVクライアントには、空間効率の良い確率的データ構造であるブルームフィルターが実装されているが、この度マージされた Bitcoin Cash の graphene 技術では、ブルームフィルターに加え IBLT と呼ばれるテーブル構造を利用することで、偽陽性率を一定程度担保しながら、より軽量に新ブロックのアナウンス、つまり、ブロックの伝播を行う事ができるとのことである。Bitcoin Cash はブロックサイズが大きいため1ブロックに含まれるトランザクションの最大数が Bitcoin よりも多い。そこで、多少の偽陽性率を負ってでもブロック伝播遅延によるマイニングの不平等リスクを払拭する必要があると言える。graphene が Bitcoin Cash の主流となるのか、BitcoinABCを含めた他の開発コミュニティの動向に注目である。

個別企業動向

7/25、大手マイニング企業 Bitmain がマイニングおよび発送に関するポリシーを新たに公開した。主な内容は以下の4点。自社が保有するハッシュレートを毎月公開すること。シークレットマイニング、すなわち新しいASICを一般販売する前に自社だけでマイニングしないこと。空ブロック、すなわち何の取引も含まないブロックはマイニングしないこと。Antminer 公式 Twitter アカウントを通して新しいマイニング機器の発送情報を公開すること。今回のポリシーは業界の公正かつ健全な市場に貢献する為に公開された。仮想通貨市場では、投資家保護の観点から透明性の確保が時に問題視される。大手企業が情報公開を進めることで、その動きは業界全体に拡がっていくだろう。

コラム：投資家にとってポートフォリオは名刺代わり

ロンドンで Meet-up に参加した時のことだ。近くにいたイギリス人に声をかけられこう聞かれた。「Are you an investor?」現地事情の調査に訪れていた私は当然投資家ではない。調査をしていると言うと彼は興味なさそうな反応を示したが、あれこれ質問すると喜んで仮想通貨投資について話し始めた。彼だけではない。その場にいたほとんどの人が自身のポートフォリオの話をしていった。彼らにとってポートフォリオは名刺代わりなのである。EOS, IOTA, CARDANO 等々多くの通貨の名前が聞かれたが、彼らはそれぞれの通貨の仕組み、理念を理解をした上で自身のポートフォリオを語っていた。株式投資と違い公開情報が限られる仮想通貨投資においては、最低限ホワイトペーパーを読み通貨の理解を深めることが求められるが、日本の投資家はそれをどこまで理解しているだろうか。自分でも説明できない名刺を使っているのは、到底「ビジネス」は上手くいきっこない。

その他アルトコイン動向 (参考)